

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		フランス語ⅠA（文法） F1107 Primary French A				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 松井 真之介			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	木4		配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]											
1 フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。 2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。 (1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。（複言語学習） (2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。（複文化学習）											
[到達目標]											
1) 文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。 2) 発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。 3) フランス語を話すための基礎力を身につける。											
[授業計画と内容]											
1 教材は全部で20課ある。各課は、冒頭の複言語・複文化に関係している「テキスト」と文法事項の説明と練習問題で構成されている。前期は8課までする。 2 授業時間だけでは、フランス語の文法をマスターすることはできない。第2課からは、授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。 3 授業は、CALL教室で教師とともにする学習と教室外でする自律学習のブレンDED形式で行う。 4 授業開始の2週間を除いて、毎回1課ずつ進み、各課の終了後に小テストを行う。小テストは自己採点し、その結果の自己分析と学習過程に関するポートフォリオも毎回作成する。											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
成績評価は、前期末におこなわれる統一試験、小テストの点とポートフォリオ作成の熱心さに基づいておこなう。つまり、学習結果だけでなく、学習過程も評価の対象にする。詳細については授業で説明する。											
[教科書]											
大木・西山・グラツィアニ 『改訂版グラメール アクティーフ』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35233-6（教科書についているポートフォリオを毎回提出する必要があるので、必ず購入すること）											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
（関連URL） http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/fr/menu.html （グラメール・アクティーフ） http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/call_fr/gaf/index.html （『グラメール・アクティーフ』）											
フランス語ⅠA（文法）F1107(2)へ続く↓↓↓											

フランス語ⅠA（文法） F1107(2)

『』に準拠する文法確認と確認練習))

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。

[その他（オフィスアワー等）]